



大ヒットパンデミック映画の続編『新感染半島ファイナル・ステージ』



映画の中の最悪の未来像とは？

大ヒットしたパンデミック3部作の最終作『新感染半島 ファイナル・ステージ』が元日に公開

ソウルを舞台に謎のウイルスによるパンデミックを描いたアニメ作品『ソウル・ステーション パンデミック』。その直後から始まり高速鉄道という限定空間で物語の密度を高め、ゾンビ映画として日本でもスマッシュヒットを記録した『新感染 ファイナル・エクスプレス』。ヨン・サンホ監督による3部作の完結編となるのが2021年元旦公開となった『新感染半島 ファイナル・ステージ』です。

未知のウイルスによるパンデミック・パニックが描かれる前半と、一転してアクションが主流となる中盤以降とで全く違ったテイストを味わうことができる一粒で二度おいしい映画となっています。主演は是枝裕和最新作『ブローカー』にも出演する人気俳優のカン・ドンウォン。群像劇だった前作から変わって、英雄譚テイストで本作を牽引します。

【あらすじ】

未知のウイルスの爆発的な感染拡大と感染者達の狂暴化に揺れる朝鮮半島。ジョンソクは軍人であることを利用して姉家族を半島から脱出させようとしていました。

脱出船に潜り込めた一家ですが、感染者がいたため船内にも被害者が出てしまいます。その中にはジョンソクの姉とその子供の姿もありました。

それから4年もの間、香港に逃げ荒んだ生活を送っていたジョンソクは、ある仕事を遂行するために半島に戻ることに。その仕事とは、チームを組み3日以内に大量のドル紙幣が積まれたトラックを回収して半島を脱出するというものでした。

チームはウイルスにより凶暴化した人間たちから逃れ、トラックを手に入れるも、631部隊と呼ばれる民兵集団に襲われてしまいます。トラックも奪われ、危機一髪となったジョンソクを救ったのはミンジョンとその幼い娘たちでした。ジョンソクはミンジョン親子が半島から脱出するために協力することになり・・・。

©2020 NEXT ENTERTAINMENT WORLD & REDPETER FILMS.All Rights Reserved.

前半に描かれるパンデミック・パニック

物語は前作と同じ、朝鮮半島で発生したパンデミック・パニックから始まります。交通インフラは崩壊し、パニックになった人たちが街中にあふれ出ます。さらに、感染者達が周りの人を襲い始め、混乱に拍車がかかります。前作のヒットによって、これまでにないスケール感を手にしたヨン・サンホ監督は、実に贅沢な作りでこのパンデミック・パニックを描きました。

そして、舞台は4年後へ。脱出船の悲劇から4年の月日が経過し、香港では朝鮮半島から来た人間と言うことで、感染者ではないのかという差別を受けるシーンがあります。実際に日本では新型コロナウイルス

作品データ製作：韓国配給：ネクスト・エンターテインメント・ワールド
ギャガ上映時間：116分公式サイト：<https://gaga.ne.jp/shin-kansen-hantou/>©2020 NEXT ENTERTAINMENT WORLD & REDPETER FILMS.All Rights Reserved.